

令和5年度 地域福祉活動支援事業 ホームページ用報告書

神奈川県社協ホームページに掲載しますので、助成事業の概要を簡潔に記入してください。

※必要事項を記入または☑ 1ページ以内に収まるよう作成

団体名	横須賀市聴覚障害者協会		
団体の属性	☑セルフヘルプグループ・当事者等		□ボランティアグループ等
	□市町村社協やそれを構成員とする実行委員会等		
助成区分	☑一般助成	□協働モデル助成	協働モデル助成 本会提示テーマ
助成事業名	手話による傾聴ボランティア		
事業の目的	手話を母語とする高齢聴覚障害者の交流の場の提供と傾聴		
事業概要	<p>生まれた時から耳が聴こえず手話を母語として生活してきた高齢者に対し、手話で楽しく会話ができる場所を提供し、手話でおしゃべりをしたり、健康についてのミニ講義やゲーム、工作などを行っています。</p> <p>現在の高齢聴覚障害者は昔の社会状況もあり、教育の格差や差別を受けて大変苦しい思いをされてきました。また、コロナ禍で外出ができない時期は手話の無い生活が続き、心身の衰弱が問題視されています。人生の最後まで手話言語でつながり、人としての尊厳を守りたいと思い活動しています。</p> <p>① 「手話ベリカフェ」・・・毎月1回開催 場所：横須賀市立総合福祉会館 毎回10～13人の利用者に対して、お茶を飲みながらゆっくりとおしゃべりをしたり、楽しいゲームや季節に合わせた工作をして持ち帰っていただいています。ボランティアスタッフも利用者ひとりひとりに付き、手話でコミュニケーションを取りながら一緒に楽しく時間を過ごしています。ゲームや工作もスタッフが毎回趣向を凝らし、様々な楽しい催しを考えています。3時間弱の短い時間ですが、帰るころには利用者の皆さんも明るい表情に変化しています。</p> <p>② 「個別型傾聴」・・・要望に合わせて 場所：個人宅や施設 毎月の手話ベリカフェに都合が合わなかった方や会場での参加が難しい方に対し、スタッフがご自宅や入所施設にうかがい、約1時間程度おしゃべりや傾聴を行っています。</p> <p>③ 「傾聴学習会」・・・年数回 場所：横須賀市立総合福祉会館 外部から講師を招いて、スタッフの傾聴技術の向上や研鑽のために定期的に学習会を開催しています。学習会では実際に傾聴を受ける立場を体験したり、様々な事例を通してよりよい傾聴ができるように学び続けています。</p>		
成果や課題	<p>今年度から始まった事業なので、スタッフも手探りながらも様々な企画を考え実践してきました。回を重ねるにつれて利用者からも好評の声をいただき大変嬉しく思っています。またこの活動に興味を持った方からの問い合わせや見学も増えています。課題としては送迎スタッフ不足があります。現在も手話ベリカフェには車いすの方を含め毎回3～4名の送迎希望者がいますが、今後は更に送迎希望が増える見込みの中、ドライバーの確保が喫緊の課題です。また個別型傾聴も増える予想なのでスタッフ一人ひとりの技術向上が求められます。また助成金が終了した後も継続して活動を続けるためには資金の確保も今後の大きな課題です。</p>		
今後の展望	<p>今後も同様の手話ベリカフェを開催し、まだこの活動を知らない高齢ろう者に周知をしてさらに多くの方に参加していただきたいと考えています。いずれはミニデイサービスのように昼食から午後の時間までを過ごしてもらえるよう考えています。また、高齢ろう者の中には日頃外出の機会が少ない方も多いため、福祉バスを借りて横浜方面へ日帰りのバスツアーを企画し楽しんでいただきたいと思っています。</p>		
活動の様子が分かる画像 2枚程度添付			